

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 3 1 日作成)

委員会名	設計方法小委員会	主 査 名：奥田宗幸
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会	委員長名：服部岑生
設 置 期 間	2004 年 4 月 ～ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	21 世紀を迎えて、大量生産・大量消費を基調としたデザインが行き詰まり、人間や環境のあり方に配慮した新しいデザインのあり方を明確にすることが重要な課題となっている。そこでは、与条件を問い直すところから始めて、つくられたものが実際に使用され、その結果がデザインにフィードバックされていくマクロな「人間-環境系のデザイン」を展開することが求められている。このマクロなデザインプロセスの仕組みを探求すること目的として、本小委員会を設置する。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員構成にあたっては、地域や分野のバランスを考慮し、多様な設計方法研究者に参加していただくよう配慮している。 奥田 宗幸, 山田 哲弥, 本江 正茂, 田浦 俊春, 竹内 昌義, 近角 真一, 仲 隆介, 日色 真帆, 増村 昭二, 両角 光男, 門内 輝行, 渡邊 朗子	
設置 WG (WG 名：目的)	設計プロセス研究WG (文献・記事・論文等の収集およびレビューを行い、各研究活動の体系的な見地に立った位置づけを検討)。設計支援システムWG (「デザイン環境」としての設計支援システムの研究)	
2004 年度予算	229,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004/04/25 8名, 2004/06/06 5名, 2004/09/17 7名, 2004/12/19 5名, 2005/01/29 7名, 2005/03/12 6名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) プロダクト、建築、都市、ランドスケープを含むマクロな人間-環境系のデザインの事例を収集し、そのデザインプロセスの仕組みを分析した。</p> <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係) マクロなデザインプロセスを支援する方法・メディア・場の条件を明らかにし、新しい設計方法のビジョンを提示することを実施した。</p>

その他評価すべき 事項	
----------------	--